

国交省では人口減少・少子高齢化社会を踏まえ、特に次世代の社会インフラの維持管理・災害調査・災害復旧において、省人化対策用にロボットの活用化を検討。国内外の異分野も含めた産学の技術を公募した。弊社はサイフォンの力で燃費を画期的に削減した「ハイブリッド・山辰サイフォン」排水装置を災害復旧分野に応募した。結果は「活用を推薦する」という驚きの最高の評価を頂いた。本装置は土砂災害による天然ダムの排水用だけでなく、一般土木工事でも活用できる技術と



奥山で黙々と働く 「山辰サイフォン」

山辰組 社長 馬淵和三

して開発を進めてきた。管内の砂防ダムを開発用実験フィールドにご提供頂いた国交省越美山系砂防事務所発注の工事を、揖斐川町坂内諸家で受注させて頂き、山辰サイフォンを使用している。その活用方法とは…。工事に隣接する川魚料理店「かじか苑」の養殖池に流入する谷水が工事で濁ると魚に影響すると現場担当者が判断した。しかし、迂回水路の仮設や長期間のポンプ送水作業には多大な費用が掛かる。そこで、工事の最上流部で新鮮な水を直径10センチの山辰サイフォンにより

吸水し、本施工に支障が無い様、砂防ダムを迂回し、山の斜面をサイフォン配管して養殖池へ給水した。お店から「新鮮な水を送って下さって、ありがとうございます」と喜んで頂けた。お客様にこの店の美味しい川魚料理を味わって頂く為、本工事を安心して進める為、これから約8カ月の間、電気を使わず、奥山で黙々と新鮮な水を送り続けるのだ。燃費が掛からず低コストで環境に優しい「ハイブリッド・山辰サイフォン」を社会に貢献できる送水装置として普及に努めていきたい。